

交通安全だより

二本松警察署 交通課

2022年 8月 1日 発行

今月の行事

- 1日(月)・・・交通事故ゼロ・歩行者優先の日
- 5日(金)・・・タクシーの日
- 15日(月)・・・シルバー交通安全の日
終戦記念日/全国戦没者追悼式
- 19日(金)・・・バイクの日
- 21日(日)・・・交通安全話し合いの日
- 23日(火)・・・踏切事故防止の日



疲労のサインを見逃すな

- まばたきの回数が増える
- 目がショボショボする
- ぼんやりしてくる
- 予定のサービスエリアをいつのまにか通過している
- あくびをする
- 無意識に肩や首を回している
- 前車が減速したことに気づくのが遅れる
- ヒヤリとしてブレーキを踏む
- 足が重くなり、アクセルペダルを踏むのが面倒になる



このように、身体に疲労のサインが現れてきた場合、居眠り運転一步手前の場合もあるので注意が必要です。たとえば高速道路走行中に居眠り運転の兆候が現れたときは、すぐに最寄りのパーキングエリアで休憩しましょう。可能であれば15分から20分の仮眠をお勧めします。「もう少しなら、大丈夫」は「もうすでに、危険」です。

雑踏事故防止のための3つのお願い

- ① 時間に余裕を持って出かけましょう
- ② 混雑した場所では、人の身体を押しったり流れに逆らうのはやめましょう。
- ③ スタッフや係員の指示・案内に従いましょう



飲酒運転の根絶
節度ある適度な飲酒

アルコール検知だけで「飲酒運転ゼロ」にできない

4月1日から白ナンバーでも酒気帯びチェックとその記録が義務づけられました。

しかし、運転前・運転後のチェックだけでは、飲酒運転根絶はなかなか実現しません。

多量飲酒の習慣のある人は、前夜のお酒が体内に残っているまま、マイカー通勤などをしていて、酒気帯び運転が発覚することがあります。

また、アルコールへの依存が進むと、家族や同僚に隠れて昼間からお酒を飲む場合が多くなり、仕事上の休憩時間などにお酒を購入して、運転途中に飲酒することもあります。飲酒運転への規制が厳しくなったことを捉えて、飲酒運転根絶に向けた啓発活動を強化しましょう。

さらに、飲酒が発覚するのを恐れて逃げるといった運転者が多いことを考えると、大きな事故を起こしていないものの、飲酒運転をしている運転者が水面下で隠れているという実態が考えられますので、次のような活動に取り組んで根絶への機運を高めましょう。

- ① 全社をあげた飲酒運転根絶宣言活動を実施する
- ② 多量飲酒者を把握する
- ③ SDカード取得運動を実施して違反の実態を把握する
- ④ 家庭への啓発活動を行う
- ⑤ アルコールは「ドラッグ」という意識を高める



全席でシートベルト・チャイルドシートを正しく着用しましょう！

「夏休み中」の子ども達の、**交通事故、水難事故、犯罪被害防止**にご協力をお願いします！

自転車は車のなかま～自転車はルールを守って安全運転～

自転車安全利用五則は、自転車に乗るときに守るべきルールのうち、特に重要なものを取り上げています。また、福島県自転車条例で損害賠償責任保険等の加入が義務となりました。さらに、乗車用ヘルメットを着用して安全な利用をお願いします。

